

平成28年度第5回東金市学校教育問題検討懇談会  
会議要旨

日時 平成29年3月13日（月）午前10時00分から11時00分まで

場所 東金市役所4階401会議室

出席した委員

東谷 仁 城西国際大学国際人文学部特任教授  
高橋 邦夫 千葉学芸高等学校長  
相京 邦彦 東金市議会議員  
岩崎 顯二 丘山小学校PTA会長  
三須 芳雄 東金市区長会連合会長  
石川 貢彦 福岡小学校長（敬称略）

欠席した委員

前嶋 里奈 東金市議会議員  
内田 武 東金中学校PTA会長  
鈴木 基正 東小学校PTA学年委員長  
宮澤 敬人 源地区会長  
宮崎 孝男 東中学校長  
（敬称略）

事務局

青木教育部長、鈴木教育総務課長、松井学校教育課長、戸田学校教育課副課長、  
鈴木学校教育課学事係長

会議概要

1. 開会(午前10時00分) 司会 鈴木係長
2. あいさつ 東谷会長
3. 報告事項  
懇談会要綱第5条の規定により、会議の議長は東谷会長となる。

協議事項

- (1) ・報告書の最終確認について  
・戸田副課長から説明を行った。主な内容は、次のとおり。  
・前回懇談会に提示した答申（案）からの追加・修正箇所について説明した。

主な修正箇所

- ・ 答申(4)の「部活を理由とした就学区域の指定変更を検討すべき」を保護者等の市民が見て分かり易いように変更する。
- ・ 答申(4)の適正規模に関する意見を、見やすくするために「3番」「5番」「7番」「8番」「12番」「13番」を連続して配置する。
- ・ 答申(4)の「参考（本懇談会で出された主な意見等）」の「参考」を「留意事項」とし、括弧内の説明については、本懇談会で色々な意見が出て意見集約はできなかったが、次の協議等に活かされるように、今後考慮すべき意見として記載する。
- ・ 16頁の14行目の段落「これらの課題に対応していくためには、現状の小中学校数の維持についても十分な協議が必要であると考え」は、前文とのバランス及び維持か否かが分かりづらいため削除する。

- 15頁の答申(4)の「12学級以上は厳しいという意見が多く、現実的な基準は9学級以上」となっているが、教科担任制（免許外指導の解消）、行事及び部活動を考慮した場合、12学級以上が必要であるという意見も併記する。

#### その他

- 本報告書に、いくつかの訂正がはいたが、本懇談会での訂正箇所を修正したものを郵送し確認いただき確定するということで了解をいただいた。また、本報告書の基本的な部分については、委員の方々の了解が得られたため、本報告書を教育委員会へ答申することになった。
- 今後、教育委員会としては、この答申を受けた報告書を参考に学校統合等の協議等に取り組んで行く。
- 今回の懇談会をもって、最終回となった。